

【大阪府】

1. 事業名：地域特性を活かした都道府県センター事業

2. 担当センター名称：大阪府地球温暖化防止活動推進センター（財団法人 大阪府みどり公社）

(ア) 事業担当者：環境部 葉山幸雄、山口直喜

(イ) 電話番号：06-6266-1271

(ウ) FAX 番号 06-6266-8665

(エ) 電子メールアドレス center@osaka-midori.jp

3. 事業の概要（目的）

大阪府では、CO2 排出量削減を推進するため、ノーマイカーデーを発展させてより多くの府民参加を得るために、環境月間である 6 月にマイカー自粛のキャンペーンを実施し、府民の参加意欲を高めるための取り組みを実施することとしている。

本業務は、マイカー自粛に向けた取り組みを推進することを目的として、平成 16 年 6 月の北摂地域のノーマイカーデーを中心とした期間に、「かしこいクルマの使い方」プログラムを実施し、参加者の意識の変容およびプログラムの効果を把握して、プログラムの普及に向けた課題を検討する。

4. 事業の内容（事業の詳細については、中間報告書及び資料編を参照）

参加モニター

モニター数 231 名

- ・参加事業所：サンスター株式会社（高槻市）、第一製薬株式会社（高槻市）、大幸薬品株式会社（吹田市）、マロニー株式会社（吹田市）、ダイハツ工業株式会社（池田市）、池田市役所（池田市）
- ・一般モニター：

北摂地域の市役所から市民団体に参加を要請（高槻市、池田市、豊中市）

調査期間

平成 16 年 6 月から約 1 ヶ月

（北摂ノーマイカーデーキャンペーン（6 月 21 日、6 月 22 日）を中心とした約 1 ヶ月間）

- ・事前の交通行動調査時期：平成 16 年 6 月 6 日（日）～8 日（火）
- ・実施後の交通行動調査時期：平成 16 年 6 月 20 日（日）～22 日（火）

調査方法等

㈱交通システム研究所において、調査用プログラムに基づき、調査データの収集、整理を実施

した。

収集データは、現況交通ダイヤリー、よりよい車の使い方を考えた行動プラン、実践後の交通ダイヤリー、実践結果評価後の交通行動計画とした。

調査用プログラムは、(株)交通システム研究所所有の「かしこいクルマの使い方」プログラム・ツールを活用し、インターネット環境で実施した。

分析方法等

態度変容の分析

事前・事後に実施する自動車利用に関する意識調査結果データに基づき、自動車利用の習慣強度や自動車利用に対する意識について、その態度変容を分析した。

CO2 排出量削減などの効果の分析

プログラム中に実施する事前・事後の交通ダイヤリー調査結果に基づき、プログラム実施後のCO2 排出量の削減効果を分析して評価した。

(移動量、CO2 排出量、燃料消費量)

問題点・課題の検討

モニター調査に係る参加状況やモニターの意見、およびプログラム実施の効果などを踏まえて、府民の参加という視点で問題点と課題を検討して整理する。

5. 期待される効果

プログラム取り組み実践の効果（年間換算値）

CO2排出量削減効果

実践の効果	評価値	備考
3日間のCO2排出量の削減 今回の取組みを1年間実践した場合の CO2排出量の削減量	0.582 トン/3日 70.8 トン/年	取組みモニター：169人 有効回答者数：169人
森林(スギ)の樹木換算値	5,058 本 6 ha	森林(スギ)の1本当り年間二酸化炭素 吸収量：約14Kg ^{注)} (「地球温暖化防止 のための緑の吸収源対策」環境省， 林野庁資料 約12m ² /本
大阪府内の事業所100社で各100人の従 業者の方が取組んだと仮定した場合の 1年間のCO2排出量の削減量	4.2 * _□ トン/年	(参考)大阪府内の従業者数：4,779 千人(H13事業所統計)
森林(スギ)の樹木換算値	30 万本 359 ha	森林(スギ)の1本当り年間二酸化炭素 吸収量：約14Kg(「地球温暖化防止の ための緑の吸収源対策」環境省，林 野庁資料 約12m ² /本
服部緑地約3個分の森林面積に相当(服部緑地：126ha)		

注).50年生のスギ人工林の収穫表に基づく試算値

燃料消費量削減効果

実践の効果	評価値	備考
3日間の燃料消費量の削減 今回の取組みを1年間実践した場合の 燃料消費量の削減量	0.385 キロリットル/3日 46.8 キロリットル/年	取組みモニター：169人 モニター：169人
大阪府内の事業所100社で各100人の従 業者の方が取組んだと仮定した場合の 1年間のCO2排出量の削減量	2,772 キロリットル/年	(参考)大阪府内の従業者数：4,779 千人(H13事業所統計)
貨幣価値換算値	30,489 億円/年	110円/リットル
一人当たり年間燃料消費量の削減量 貨幣価値換算値	277 リットル/年 30,489 円/年	110円/リットル

6. 全体計画の工程表

月	日	主要行事	事業所	作業
5	10		・協力応諾連絡 ・モニター募集	・募集案内 ツール整備 プログラム アップデイト
	17	・モニター募集開始(5/17)		
	24	・モニター募集締切(5/28)	・モニター名簿提出	
	31			
6		・確認, ID発行, 案内(6/1) 第1Fase(6/4-10)	現況交通ダイヤリー調査	・確認, ID発行, 案内 プログラム運営・ コミュニケーション
	7		アンケート調査	
		第2Fase(6/11-18)	現況診断	
	14		行動プラン策定	
		第3Fase(6/19-24)	第2回交通ダイヤリー調査	
	21			
	第4Fase(6/25-6/30)	プログラム評価 交通行動計画策定 第2回アンケート調査		
7				プログラム 評価分析
		取組み結果の報告		

7. 平成 17 年度以降の事業予定：

今年度の結果を基に課題を整理し、継続調査の必要性を検討する。

以上